

第2回荒俣海岸林クロマツ苗の植樹会

令和6年11月16日（土）、黒部市荒俣において当センターが協力団体として活動支援している「荒俣地区松枯対策協議会」が主催する植樹活動が行われました。

近年、荒俣地区の海岸林において、松くい虫（マツ材線虫病）による松枯れ被害が拡大し、多くの松が枯死しました。被害木の伐倒等で松林が減少する中、令和4年に荒俣地区松枯対策協議会が設立されました。海岸林再生プロジェクトとして、県の水と緑の森づくり事業や黒部市単独事業を活用し、薬剤樹幹注入などの予防対策を行っており、今年も抵抗性クロマツの植樹を行いました。

当日は晴天に恵まれ、協議会会員と荒俣地区の方々、小学校児童・父兄など49名の参加がありました。開会式で、寺田協議会会長、木島協議会相談役が挨拶され、新川森林組合職員からは、植栽方法の説明がありました。子供たちは、植栽穴を掘る作業が難しかったようで、当センターも根切りの作業補助をしたり、苗木を埋戻す深さの確認を行ったりしました。参加された方々は、植栽のコツをつかんで、あっという間に150本のクロマツ苗の植栽が完了しました。

地域の子供たちにも参加してもらうことで、歴史ある海岸林を次世代に受け継いでいく願いも込められています。今後も松林再生を目指して、植栽をはじめ保育（下草刈り）なども行い、協議会・地域住民が一体となって活動される予定です。県としても協議会を支援し、荒俣地区の美しい海岸林がよみがえることを、心より願っております。



参加者全員で記念撮影



受付開始



開会式。良い天気にも恵まれました！



植樹会場へ移動



植樹手順の説明



「穴掘り、手伝うよ」「ありがとう！」



皆さん手際良く植えておられました



力を合わせて、標柱を建てます！



植樹完了！